川口町公民館報

公民館報

第36号

発行人　関　平吉
編集人　金子　真
印刷所　山静堂印刷所

就任の挨拶

川口町長　大淵鉄太郎

このたび川口町長に就任いたしましたので、所懐の一端を披瀝して御挨拶といたします。

先ず第一に明るい政治を実現することです、金権政治や、権力政治、宴会政治を排してどなたでも心安く話し合いをいたしたいと思います。

殊に町政のために政党や派閥のための抗争をなくして全町民一体となつて町勢の伸展に御協力をお願いいたしたいのです。

去る五月九日の初議会に於いても、議長、副議長、各種委員長などの選挙が投票をやらないで話し合いでなごやかな間に決定したことは派閥争いを解消した第一歩と言つても過言ではなく議会政治の前途を明るくしたことゝ感謝しております。

次に施政の方針や財政の問題です、本年度は大体前任者の意図を踏襲してやりたいと思いますが、予算に於いて殆んど財源を使つておるので、新規事業の計画は不可能です本年度は既往の実質赤字を解消し健全財政の確立に邁進する考えであります。

然しながら町政の前途には、尚重要問題が山積しておるので、私としても、その責任の重大さを痛切に感ずる次第でありますが、町民各位に於かれても絶大なる御支援を賜わり、明るい町づくりのため御協力あらんことをお願いし就任のことばといたします。

和の結集をはかる

（（（初議会）））

「この一票、人のさしずは受けません」と五千人有権者の厳正な審判を受けて、見事……衆望を担つて当選をかち得た、われらの代表の初議会は、町民の注目のうちに五月九日招集された。

この日午前十時、年長議員佐藤角一郎氏仮議長となり新議会の開会を宣し、大淵新町長就任挨拶ののち議長選挙に移つた。

住みよい町や村を造るには先づ議会の和の結集からと、議長、副議長各委員などの選衡にあたり選挙をさけて話合いによつて円満裡に選出しようとする空気が強く審議の結果全員異議なく話し合いによろうということになり六名の選衡委員を挙げて選衡に入つた。

選衡の結果は議長に山田寅之助氏が推され一同に諮つたところ満場一致決定された。山田寅之助氏は直ちに議長席につき議長承諾挨拶をなし引続き副議長以下各種委員の選衡を進めたところ別表の通り満場異議なく選出決定された。

尚任期は議長以下全役員二ヶ年とし二ヶ年後に交替する申合せがなされた模様である。

各役員選出後現収入役石坂久平氏の収入役再選に全員一致の同意を与えてなごやかなうちに初議会の閉会が告げられた。

議長以下各種委員の顔ぶれは次の通り。

㈠議　長　山田寅之助
㈡副議長　上村　忠作
㈢常任委員　◎印委員長　○印副委員長

委員会名	委員名
総務委員会	◎青柳　弘　○小見芳雄　佐藤角一郎　宮真五郎　星野林之助　喜多村清松　大淵洋治
社会文教委員会	◎星野　武夫　○古田島徳八　小宮山久作　樋口三郎　石坂金次　目黒寅吉　関正治
産業土木委員会	◎小宮山賢吉　○渡辺文次郎　綱治平　関久作　上村忠作　平沢茂　星野光威

㈣川口町公共事業振興会
会　長　目黒　寅吉
副会長　石坂　金次
㈤出納臨時検査立会議員
綱治平　大淵洋治　星野光威
㈥小千谷市、川口町伝染病院組合会議員
星野林之助　関正治　小宮山久作
㈦小出高等学校組合会議員
関久作　樋口三郎

・・・われらの選良・・・・
町政に新風をそそげ

……五月九日初議会記念写真……

郷土はそこに育てられた人々にとつて、人生の揺籃といわれ……社会全体の生活もここに始まる。

激烈を極めた選挙も、要は住みよい町や暮しよい台所をつくる熱意に燃えた町長や議員を選ばんがための結果にほかならない。

すべりだした新議会よ…………町民の期待に応えて努力健斗されんことを祈る。

今年こそは

……公民館運営審議委員会開かる……

去る十八日役場において、三十四年度第一回の公民館運営審議委員会が開かれた。社会体育の指定に伴い本年度の諸計画について活溌な意見の交換があり素晴らしい成果が期待されている。本年は従来の分館の上に学校区毎に地区館を設け、本館との連絡を密にし社会教育事業を推し進めていくことになつた。

今までのように外部からの講師に頼りすぎ、しかもその場限りのものではなく、それぞれの部落の中に或いは家庭の中にある問題について自主的な話し合いをもつ、即ち生活課題の認識から解決の方向へという町の社会教育の基本方針にのつとり活動を展開することになつた。計画の概況は次の通り

事業計画

1新生活運動の推進
○新生活運動指導者講習会
○新生活運動模範地区視察
○公民館結婚の奨励
2分館活動の促進
○分館運営研究会
○分館活動状況紹介
3勤労青少年教育の推進
○成人式
○青年学級指導者研究会
○青年学級生大会
○青年団合宿講習会
4社会体育レクリエーションの普及
○町民体育祭
○民踊、フオークダンス講習会
○サイクリング
○登　山
5婦人教育、成人教育の振興
○婦人会指導者講習会
○婦人学級研究会
○母親大会後援
○講演会
○映画会
○囲碁、将棋大会
○俳句会
○敬老会
6社会教育関係団体の育成
○映写技術講習会
7広報活動の活溌化
○館報発行
8文化財の調査記録
○文化財の調査
○郷土史の研究
○町民謡作成

●みんなで踏切事故をなくしましょう●

一、最近の踏切事故はどうなつているか。

最近の国鉄における踏切事故は戦前に比べ三倍以上になつており、昭和三十二年度の総件数は二、一五六件、死傷人員は一、八七五人、直接の損害額は四四〇〇〇万円にもなつていることは、全く驚くほかありません。

この踏切事故が一年間を通じて全国的に散発しているので皆様もあまり関心をもつていないのではないかと思いますが、毎年このように増え続けていることは、まことに遺憾なことであります。

我が新潟鉄道管理局の踏切事故はどうなつているかをみますと、やはり全国的な傾向と少しも変らずに毎年のように逐次増えているのであります。

今年度四月から八月までの成績は三八件に達し対前年七三％増であつてまことに憂慮すべき状態であります。

昭和三十二年度の踏切事故その他をひろつてみますと

⑴踏切道におけるもの
踏切障害（遮げきしたもの）
自動車　三一
自転車　一八
その他　一二
合　計　六一
死　亡　八
負　傷　一八
公衆死傷
死　亡　三
負　傷　五
自　殺　三
列車支障（遮げきせず停止）
自転車　六二
歩行者　五七
諸　車　七一
合　計　一九〇
⑵ふみ切道以外のもの
線路及び橋りよう歩行中の死傷
死　亡　一二
負　傷　二〇
列車支障、列車妨害
橋りよう歩行　四六
線路内歩行　一一〇
妨　害　七六
⑶自　殺　五七

二、ふみ切事故はどうして恐ろしい事故になるか

それならば、どうして踏切事故が恐ろしい事故になるのでしよう。ひと度踏切で機関車と衝突や接触がおきると大きな事故となり、自動車が破損し、機関車が脱線して、多くの死傷者をだすという恐ろしい結果を生むことになるのであります。

なぜ、これ程恐ろしい踏切事故が多いのでしようか、最近の新潟県の自動車数は、昭和二十一年に僅か二一九〇台しかなかつたものが、昭和三十二年には一躍一四倍にも増加し、なんと三一、二一一台にもなつています。

このように急激に増えていることがともかく見逃しのできない原因の一つでありましよう。

ふみ切事故発生率の最も高い車は何かといいますと、自動車やオート三輪でおきたものが全体の五〇％を占めており、その中特に事故発生率の高いものがトラック、オート三輪があげられます。次に多いのは、乗用車、オートバイでこれらによる死傷者数も自動車オート三輪で生じたものが大半を占めています。

三、一日でどの時間帯が最も事故が多いか。

それではこうした恐ろしいふみ切事故が一日の中どんな時間帯にもつとも多くおきているかといいますと午前八時から午後七時までの間でありますふみ切事故の多いか少ないかはその時間帯の交通量にも比例するわけですから、夜間は交通量が減少してくるだけ事故件数も少なくなつていますがふみ切を通る人や車の通行数に対する事故発生の割合はむしろ午後七時すぎから深夜にかけての方がはるかに高くなつているのでありますから特に注意しなければならないことと思います。それは夜間は暗いためふみ切の見透しが悪いことと、車を運転するに当つて、つい仮眠したりまた酒に酔つて通つたりすることが案外に大きな事故をおこしているからであります。

〃みんなで オリンピック貯金を

一九六四年に開催される、世紀の祭典、オリンピックが東京でという話が有力になつてきている。世界各国の若人が自国の名誉をにない又、国交親善の為のよりよき使者として一堂に会するこの大会を見ることは我々の長い夢であつた。

所詮高嶺の花としか思えなかつたこの事実を、抱き続けてきた夢を実現出来るときが訪れて来そうな気がする。

その日の為にこの大会記念して少々の金でも貯えることが出来ないものかと当川口町陸上競技協会が中心になり全町民に「オリンピック貯金を」と呼びかけることになつたわけである。

映画一回分、煙草一箱分、酒〇〇分と無意識のうちに消費していることれらのうちから、いくらかでもさいてオリンピック貯金にまわしたらどうだろう。取り扱い方法は申込みを川口町教育委員会宛住所氏名を報告すれば月毎に農協より係員が出張し集金することになる。金額は月百円以上いくらでもよいそうである。世界IOCの役員六十名が投票する開催地が東京であるようにねがいたいものである。

新町長及び議員に望む

弁論に経済に精神に体力にと只ちかに取組合いをしないだけの此の度の選挙戦も、漸く一段落着いた事は何としてもよろこばしい事です。

今回程気疲れのした事は今迄になかつたと、町民のほとんどが思つた事でしよう。

落ち着いたとは言つても、彼処でも此処でも、本家がどうだつたの、新宅のくせにこうだつたのと、親類縁者同士、交友同士がお互いにその不信をかこつて睨み合う選挙故のシコリは案外根深いのに驚きます。やがては時が解決してくれるとは言うものの、こんな争いは三、四十年前から同じ事をくり返して居ります。自分の票を誰に入れようと勝手じやないか、これこそ個人の自由だと言つてやり度く思います。

空には人工衛星が飛んでる時代です。公明選挙、コウメイセンキヨとはどんな選挙の事を指して言うのか年々わからなくなつてきました。

選ばれる人が悪いのか、選ぶ人の罪か、何にしても暗い気持ちになる事はたしかです。

サテ斯うした種々の葛藤を残し目出度く当選された新町長及び議会議員の方々に婦人として一番先に望みたい事は、私生活の健全で、清潔である事です。当人自身の生活がみだれたり、不潔であつて政治だけがキレイに行える筈はありません。男の方はこんな事には案外無神経でしようが、女はそうはまいりません。政治家、色を好む酒も好むとばかりに白昼でもかまわず酔つぱらつている場面を見せられると全くやり切れません。

之れはある一部の人達でしようが、酒を呑めば酔うもの、あんまり四角張り度くはありませんが、如何なる時でも自分は町の何であるかと言う事を考え、常にある誇りと襟度を保つていて貰い度いと思います。

次に望みたいのは、自分の行政を何時でも、誰にも大つぴらに公開できる様に願い度いものです。政治は全て真すぐに目標でしようがどうしても少しカーブしなければならない、そうしてしまつた時の場合でもだれにもハッキリ説明出来る政治をやつて貰いたいものです。

未だ〳〵望み始めたら切りがありませんが、せめてこれだけでも実行して貰いたいと思います。

社会体育の指定をうける

――議題（積雪地の体育レクリエーション）――

こんど川口町が県の社会体育の指定町として向う二ヶ年間活動することになつた。社会体育というと、すぐ民踊やフオークダンスだと早合点するむきが多いが決してそれだけではなく、ラジヤ体操、野球、ピンポン、バレーボールというようにすべての種目が加えられるのである。仕事の余暇にこれらの体育レクリエーションが楽しめたらどんなにすばらしいだろう。各部落でやつている民踊やフオークダンスの会を今までよりもつともつと盛り上げていかなければならないが、いつも婦人会の人たちとか、青年会というように限られた人達の間で愛好されているようだが、おとうさんたちもこの中に入つていくことが仲間づくりに役立つ大事なきつかけとなり、家庭内を明るくし、生活の改善が出来るのではないだろうか。

研究課題は「積雪地の体育レクリエーション」ということですばらしい成果を期待したい。

この指定を足場として川口町の社会教育全般が住民のもり上がりによつて進展していくことをねがうものである。

川口診療所長に学位授与さる

川口診療所長栗原先生は、三年前から研究していた「淡水産硬骨魚類の甲状腺組織発生学」について、この程四月二十二日附で新潟大学から、医学博士の学位を授与された。

これによつて医学界に寄与すること大きくまた町民の医療についてもより充実されるものと期待されている。

自作農維持創設資金の借受申込の受付について

この資金は国が自作農を育成維持する為に設けられたもので、最高二十万を限度として次の種類に別けて有資格者に貸付けられます。之等の条件に当てはまつて居り、借受けを希望する方は役場の係に問合せの上、五月末日までに申込んで下さい。

種　別
一号資金　自作地買受
二号資金　小作地買受
三号資金　相　続
四号資金　疾病負傷
五号資金　災　害
六号資金　右各号による負債

資格

川口町の中層農家で農業収入が農外収入より多い者。

昭和三十三年度末 川口町教職員 人事異動一覧表

転出

新任校	旧任校	氏名
横井小	小木沢小	荒木　博
小平尾小	木沢小	伊藤日出奨
上条中	川口中	稲荷　隆子
須原中	川口中	田端　晋

転入

新任校	旧任校	氏名
木沢小	小合東小	山崎　武雄
田麦山中	日吉中	布川幾久松
西川口小	岩沢中	星名ふじえ
川口中	三島中	白石　保
川口中	出雲崎中	岸　昭二
川口中	松代中	川島　澄子
田麦山中	仙田中	富永知倭子
県教職員組合	川口中	高野　正己

退職

田麦山中	清水　伴治
川口中	田代　憲司
田麦山中	石黒　辰雄
田麦山中	目黒　スミ
西川口小	矢口　徳枝

新採用

新任校	氏名
田麦山小	吉沢　直子

町内異動

新任校	旧任校	氏名
川口小	西川口小	岡村百合子
泉水小	木沢小	金子　ヒナ
和南津小	田麦山小	鈴木　恵子
木沢小	泉水小	山田　睦子

（（（詩）））

関　秀月

五月の風は　いたづら坊主だ
窓からそつと入り
本をよみ　机の上の紙をとばして
ガラス戸をたゝきながら出てゆく
そして道行く人の帽子をとばして
あやまりもしないでとんで行く
五月の風は
いたづら坊主だ

アンテナ

◆五月、新緑の季節、はげしい戦いを展開した、地方選挙も、ごうぎであつたと過ぎていつた。

奮斗むなしく敗れた人、その利義にあつて栄冠をかちえた人、悲喜交々であつたが、たがいに手を組んで明るい町づくりに踏み出してもらいたいものだ。

◆植えつけも間近か。実りの秋の収穫を夢みて利鎌をふるう農家の人達のせわしい時季がやつてきた。仕事のあとの一服、風呂で汗をおとしグッと呑みほす酒のうまさは格別、度をこさないよう「酒のみの反省」を読んでいただきたい

◆おらが町の公民館も社会体育の指定町となつたのをキッカケに大きく飛躍するだろうみんなの公民館をみんなで育ててやらねばならない。

生きる世の幸を求めて

学校教育と共に社会教育を

川口町教育長　星野輝致

学校教育の最も重要とされている問題は、優秀なる教員の配置と学校の施設設備の充実が肝要であることは論を俟たないが、幸にして本年度の教員移動（別に掲載）について他管内から転任した諸先生は夫々優秀な方々が転任されたことは、川口町の学校教育上誠に喜びに堪いないが、さて学校の施設設備については町民各位の教育への不断の熱意が功を奏し、PTAや、学校後援会の発展は日に日に伸展されている情況に対し心から感謝している次第である。

しかし、施設については町財政の関係もあり已むを得ないとしても、他町村の学校施設に比較して雲泥の差があるかに感じてならない。

一例を見るに川口小学校のスシ詰教室と、上司から危険校舎としての終止符を打たれている所は屋内運動場を除くの外、教室関係は全部危険（二六三坪）となつている。又、西川口校に於いても五十八坪、和南津校七十坪等にして、之れらは昭和三十年に文部省の規格によつて実態調査を実施した際夫々耐力度四五〇〇点以下となつている関係上、可急的速かに改築を要望されて今日に至つている事情を町民各位から十二分の考慮と、緊迫している危険の情況に重大な関心を注がれ、盛り上る教育愛を結集して、機を見て改築へ一刻も早く進まれるよう希望すると同時に、教育委員会としても其の管理上の責任機関として町当局と共に研究と整備の実現に努力を惜しまないものである。

子弟の教育部門については前述の通り優秀教員の身をもつて教育に挺身される熱意は必ずその児童、生徒に自然の中に身につき、肉となつてその効果が顕はれていることは事実が物語つて、現実的に見るべきところが多い。とくに学校教育問題は父兄の責任に於て半分、あとは諸先生に一部委ねられるとしても、さて社会教育の問題こそ重大な教育行政であつて、これ等は、学校教育の面を除くの外全部が社会教育の段階であり、人間形成の根源をなすものであれば老若男女悉くこの道に関心をもたれ、目まぐるしい生活の中にも、多少の余暇時間をさいて教育に努めることが必要とされ、青年学級あり、婦人学級あり、母親学級あり、4Hクラブあり、農研あり、と社会教育団体の数も枚挙にいとまなく、夫々の分野で心身の修養に努力されましていることは誠に喜ばしいことであつて、川口町の発展も期して待つものがあると確信する次第である。

天が下、生活を営むに明るい家庭を作りたい、明るい暮し楽しい家庭、豊かな生活を希望しないものはない。さてその欲望は物欲もあろうが物より心であつてほしい。明るい心、明るい家庭、明るい暮し総て家族こぞつて明るい心の持ち主になつてこそ始めて明るい部落造り、町造りとなるものと確信して止まない。

その心造りは人間造りとなつてくる。そこに社会教育の重要性が生まれてくる、その為に各社会教育団体をモウラした運動を展開して地区公民館の活動が叫ばれ、新生活運動が叫ばれて、みんなが楽しく話し合う機会、何ん人の前でも率直に話しが出来る人となり、人様のお話をしんけんに聞えて、それを批判し反省する人となりたいものである。

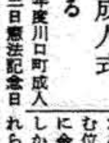
それには色々の方法もありであろうと考えるがそれ〴〵の職業分野によつて仲間造りをして、そのグループごとに研究し話し合いが生活の改善や其の他建設的な事柄として家庭訪問集会を催して、よりよい、楽しい、明るい家庭を造るという方法も一例として挙げて見たわけである。

これ等を大きく盛りあげて行くに、町の中央公民館の活動が必要とされ、両々相俟つて車の両リンのような進みかたで押し進めて行くことが社会教育のスウジクをなすものと思うので、本年度は各種団体と緊密な連絡を保つて、皆様の御熱意ある御協力を戴いてシンケンにこの問題点と取り組んで行きたい。希わくば各種団体の方々を始め小グループ（小集団）の方々も私共中央公民館職員と共に語る機会をお造りになつて、間断なく御鞭撻を下さるよう希望するものである。

特に本年度から二ヶ年間県教育庁の指定町となつて社会体育を推進することとなり、町に指導員四名の委嘱があり、推進員十数名が近く町の教育委員会から委嘱され、この運動を展開し、全町あげて社会体育を推進することにならなければならない。

いつたい社会体育とは学校体育を除く全部が社会体育と解しても間違いない。職場のラジオ体操、各団体の民踊、運動会、競技大会、武道大会、野球、庭球、卓球等いろ〳〵と挙げられるが、この推進の目的は明るい社会を作る人の心身のレンマであり、之れが徹底されてこそ社会教育が心身共に、一家あげて明るい家庭、町造りが功を奏されると信ずる次第である。

それで社会体育指定町としてのテーマは「積雪地の体育リクレイーションについて」以下具体的問題について次号



おらが町のうたを……

……民謡募集……

こんど公民館では郷土芸術の保存育成に力を入れようと広く町民に呼びかけ民謡を募集することになつた。全国的に有名なあの「佐渡おけさ」をもつ越後に、もう一つおらが町の唄も加えたいもの。川口の特色を多分におりこんだ情緒豊かな、誰でもが気やすく口ずさめる歌詩をご応募下さい。

当選作には薄謝を呈します。

第九回成人式挙行さる

昭和三十四年度川口町成人式は去る五月三日憲法記念日を期して盛大に行われた。

当日は大淵町長を始め各小中学校長、教育委員の列席をいただき、将来ある青年に対し力強い激励の言葉をはなむけとすれば参加した適令者も緊張の面持ちで耳を傾け、適令代表者の成人となつた喜びのこもつた答辞があり、次代を背負つて立つ意気と、最後に映画「幸せは僕らのねがい」を観賞、正午式をとじた。

酒のみの反省

「酒はのむべし百薬のチヨウ」とされている、若き女性は求めているすきな酒は少々のむ位の男性であつてほしい誠に金言そのものである。しかし世の中の酒のみとはこれらと雲泥の差があるからこまる、酔つぶれ、白昼チドリ足、赤い顔、大言壮語、人様の迷惑をものとしない姿を見るにつけなさけなくなる酒をお好みの方々よ、禁酒などは考えなくとも酒を携酒するお気持ちは多少ないであろうか私はテイシヨウしたいどんな会でも二合程度を限度とした酒のみになつてほしい。あすもある、又翌々日もある生きる限り続く酒の世界を歩かねばならない酒すき主人公よ反省しよう。家族が喜ぶ顔を見ただけでも反省が必要である、では酒のみの私は酒二本（四合）ビールなら一本（二合）チユウなら一合にとめて明日の楽しい勤労の為に生きたい。

（愛酒家）

訂正

一面オリンピック欄中「訪れて来そうな気がする」を「訪れてきた」と訂正いたします